

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束・虐待、認知症ケアとすべてはつながっているため、相手が何を考え、何思っているのかを理解することで、『本人本位のケア』を確立していく	ひもときシートやセンター方式を活用することで利用者の困りごと、思いなどを明確にし、どう対応していくのか具体案を検討し実施していく	ケアプラン更新時期に以前行った内容と現状の違いなどを確認(本人様の思い、状態や周囲の環境など様々なことを考慮)し、新たなものを作成するとともに、ケアプランに活かしていく 本人様を取り巻く周囲の環境変化なども大きく関わってくるため、環境の改善なども重要視し可能な限りで検討していく	12ヶ月
2	4	外部の方を招いての運営推進会議については感染のリスクが高くなるため、ここ数年書類報告のみで、開催を行っていないのが現状	感染の分類が引き下げられたのちには、運営推進会議の再開が出来るように工夫・検討していく	開催を行うにあたり、徐々に参加人数を増やしていきながら様子を見る 開催各月で参加者を振り分けて人数制限を行い、最終的に正規の参加人数を招待できるようにしていく また市内の感染者数や、ホーム内の感染状況を見ながら必要に応じ、開催日の延期・注意また文書での報告も検討する	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。